

平成26年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市鳥屋野総合体育館		
管理者名	公益財団法人 新潟市開発公社	指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成31年3月31日
担当課	中央区地域課		
所在地	中央区神道寺南2丁目3番46号		
根拠法令	スポーツ基本法		
設置条例	新潟市体育施設条例		
施設概要	敷地面積 23,683.18㎡、延床面積 12,496.97㎡ 建築構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造） 主な施設内容（構成施設の内容） 体育館棟（3階建） 7,793.65㎡ プール棟（2階建） 2,093.98㎡ 武道館棟（平屋建） 2,609.34㎡		

施 設 設 置 目 的
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ・ 方 針 等
(1)新潟市体育施設条例に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用を確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	広報の充実	ホームページに施設の情報及びブログを月1回以上更新	開放状況を随時、館長ブログを概ね月1回更新	B	
	基準利用者数の達成	利用者数年間354,000人以上	340,986人	C	指標を下回っており、今後の利用者の増加を期待する
	各種サービス別満足度	施設管理に関する利用者アンケートで「満足」が60%以上	該当8項目の平均:約67.3%	A	指標を上回っており評価できる
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には14日以内に回答	苦情・要望には迅速に回答	B	
	設置目的に合致したサービス提供	各種スポーツ教室に延40,000人以上参加	36,184人	C	指標を下回っており、今後の参加者の増加を期待する

財 務	利用者1人あたりのコスト削減額	利用者1人あたりコスト(人件費及び工事費を除く)を241円以下	約257円	C	指標を下回っており、今後のコスト削減に期待する
	市の歳入の増加	使用料収入を年間61,988千円以上	57,377千円	C	指標を下回っており、今後の収入確保の強化を期待する
業 務	他施設との連携に対する理解	他施設との連携会議を月1回以上開催	週1回館長会議を実施	A	週1回の開催で連携を密にとっており評価できる
	人員計画の合理性妥当性	業務基準書の人員確保	施設管理に必要な人員を確保	B	
	日常連絡の適切さ	各種報告書の提出期限厳守及び業務基準書に定められた報告内容の適切さ	遅延なく適切に提出	B	
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	改善内容に応じて軽易なもの即日、時間を要するもの1週間以内に改善対応	簡易なものは迅速かつ適切に実施 時間を要する勧告なし	B	
	環境に配慮した管理運営	省エネ及び環境に配慮した取り組みの実施	利用に支障のない範囲で、各室の照明を間引き点灯	B	
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	防災訓練年2回以上実施	消防訓練:2回実施 水難訓練:適宜実施	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修年1回以上実施	1回実施	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	補償を伴う事故発生件数0件	補償を伴う事故発生なし	B	
	業務基準書等に定める事項の遵守	その他業務基準書等に定める事項の遵守	遵守した	B	
人 材	配置人員条件の充足	業務に必要な資格又は専門知識、経験を有する職員の配置	各種資格所有者やスポーツ施設管理の経験者を適切に配置	B	
	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員研修を年2回以上実施	各種研修の最後に理解度テストを実施	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した	B	

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
 B: 要求水準(評価指標)が達成されている
 C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

〔市民〕 スポーツ教室の参加者数が目標に届かなかったが、指導スキルの向上、申込み方法の見直し、スポーツ教室チケットの発行等で参加しやすい仕組みを作り、参加者増を図りたい。
 〔財務〕 使用料収入については、シルバー料金等、新料金体系の影響を見定めた上で、目標達成を図りたい。
 〔業務・人材〕 専門的な資格所有者の配置や各種研修を実施したことが、事故ゼロという結果に表れた。更なる職員のスキルアップを

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

職員の接客対応・技術については、来館者から評価されており、良好な施設サービスを提供しています。
 施設利用者数、スポーツ教室参加者数が共に目標達成されていません。
 また、使用料収入についても目標を達成されていません。
 今後、施設利用者数、スポーツ教室参加者数、並びに使用料の増加につながる取り組み強化に期待します。